

ま え が き

林業を取り巻く情勢は、農山村の過疎化や林業従事者の高齢化及び減少、長期的な木材価格の低迷による林業生産性の悪化など厳しい状況にあり、林業生産活動は停滞しています。

このため、必要な手入れや循環利用が行われなまま放置され、森林の持つ多面的機能の発揮に支障が生じることが懸念されています。

一方、森林に対する県民の関心は、生活様式や価値観の変化などにより高まっており、水源のかん養、県土や自然環境の保全、地球温暖化の防止など森林の持つ公益的機能の発揮が一層期待され、また県民参加の森林づくり活動、県産木材利用等による地産地消の推進など森林との関わり方も一層多様化しております。

これらの現状を踏まえ本県では、森林を荒廃から守り、健全な状態で将来の世代に引き継いでいけるよう、森林環境税を財源として、森林と人との関係を見直し「県民一人一人が参画する新たな森林づくり」に平成18年度から取り組むこととしております。

また、この施策の理念を明確にするため、豊かな森林を守り育て後世に伝えていく「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」を平成17年11月20日に制定しました。

本書では、本県の森林・林業・木材産業全般の現状、各種施策、事業の実績及び推移を取りまとめたものであり、林業関係施策の企画立案、実行、検証を始め、今後の行政施策等の基礎資料として広く関係者に活用されるよう願っております。

最後になりましたが、本書を作成するにあたりまして、資料の提供について御協力いただきました関係機関等に対し、厚くお礼申し上げます。

平成18年3月

福島県農林水産部長 松 本 友 作

森林文化のくに・ふくしま県民憲章

(前文)

ふくしまには豊かな森林、そして清流、湖沼、海、澄んだ空があります。

私たちは、遠い祖先のころから、森林に育まれた多くのいのちの一員として生きてきました。そして、森林に感謝し、畏れ^{おそ}敬い、多彩な森林文化を育みながら、人や物を大切にする優しい心も深めてきました。

しかし、ときにこの感謝や畏れ^{おそ}敬う気持ちを忘れ、母なる森林やそこに棲む^す多くのいのちを傷つけることもしました。

今、私たちは、ふくしまの森林が未来も豊かであり続けるよう守り育て、その心を次世代に引き継ぐ責務があると考えます。

そのためには、私たち一人一人が、森林の恵みにより生活が支えられていることを理解し、森林づくりの大切さを考え、今できる身近なことから行動することが大切です。

私たち一人一人は、ここに、豊かな森林文化のくに・ふくしまを創ることを誓い、この憲章を制定します。

(本文)

わたしたちは、

- 1 森林を敬い、あらゆるいのちを尊びます。
- 2 森林にふれあい、心豊かに生きます。
- 3 森林の恵みに感謝し、活かします。
- 4 森林を守り育て、未来につながります。

(具体的な取組み)

1 森林を敬い、あらゆるいのちを尊びます。

- ・ 森の中で生き物たちが、おたがい助け合って生きていることを学び、その命を大切にします。
- ・ 山での火の後始末はきちんとします。
- ・ 森林にあるゴミを拾い、ゴミを森林には捨てません。
- ・ 森林への優しさを忘れず、森林とあらゆる生命を大切にします。
- ・ 豊かな森林を守るため無駄な開発をしません。

2 森林にふれあい、心豊かに生きます。

- ・ 森林にふれあって森林のすばらしさを学びます。
- ・ 森林の実や木の葉を鑑賞し、その季節の喜びを感じます。
- ・ 花や鳥など、自然の仲間とともに森林とふれあい友達になります。
- ・ はる、なつ、あき、ふゆの山の自然を見て楽しみます。
- ・ 森林の中のきれいな空気を思う存分吸って心を癒し、森林との共生を実感します。

3 森林の恵みに感謝し、活かします。

- ・ 森林からいただいた、木や紙は、森林に感謝し、大切に使います。
- ・ 木造の古い建物を大事にします。
- ・ 澄んだ空気や水を作り出す森林に感謝し、木々の成長を手助けします。
- ・ 森林からの贈り物に感謝し、規則を守って森林と共生します。

4 森林を守り育て、未来につなぎます。

- ・ 森林を守り、緑のきれいなふくしまをつくります。
- ・ 私達にとってかけがえのないこの豊かな森林を未来へ届けていきます。
- ・ 森林を守るため、植林活動などの森づくりに積極的に参加します。
- ・ 豊かな森林に育まれた森林文化をしっかりと次の世代に引き継ぎます。